

金沢の EIFS 分譲集合住宅見学と中国の外断熱最新動向

主 催 特定非営利活動法人 外断熱推進会議 関西支部, 北陸支部
日 時 2007年 8月 17日(金) 14:00 - 17:00
会 場 ファスタージュ泉が丘サーモス ロイヤルロード エントランスロビー
金沢市泉が丘1-231, 「金沢」駅バス約 20 分, 北陸鉄道バス停「泉が丘」徒歩 4 分, 駐車場有り

■ プログラム

開始時刻 (所要時間)	内容 / 発表者 (所属)
	司会 / 改正総一郎 (関西副支部長, 東邦レオ(株)) 記録 / 壇上圭弘 (関西支部監事, (株)ツヅキー級建築士事務所)
14:00 5 min	開会の挨拶 / 廣口征男 (理事・関西支部長, (株)ツヅキー級建築士事務所)
14:05 60 min	見学「ファスタージュ泉ヶ丘サーモスの外断熱」 / 清瀬英人 (関西副支部長, 信和住宅販売(株)) 休 憩
15:20 50 min	講演「中国の省エネ政策と外断熱の現状 - 北京・天津調査報告」 / 芝池英樹 (個人会員, 京都工芸繊維大学大学院)
16:10 25 min	報告「関西支部と北陸支部の今年度活動計画と支部間交流」 / 廣口征男 (前出), / 田村優樹 (理事・北陸支部長, (株)田村)
16:35 20 min	総合討論
16:55 5 min	まとめ / 田村優樹 (前出)

■ 概要

地球温暖化防止のための CO₂ 削減や化石燃料の有効利用の観点から, 建物の高断熱化が強く求められています。欧米や中国では, 省エネルギーで高品質な室内居住環境実現のために, 建物の外断熱化が広く普及しています。その外断熱市場で最大シェアを占めるのが, EIFS (Exterior



ファスタージュ泉が丘サーモス ロイヤルロード 外観

関西・北陸支部 合同研究交流会(2007 金沢)

Insulation and Finish Systems)と呼ばれる工法です。第二次大戦後のドイツで戦災建物の復旧・補修を目的として開発され、1970年代に米国に渡り、今では各国で広く利用されています。わが国でも、先の建築基準法改正で、防火性能を備えた適正工法として認められ、実績が増加しています。

中国では、政府が、米国民間資本の協力を仰ぎ、10年前から率先して外断熱技術の導入準備を推し進めてきました。現在では、EIFSを対象とした図面、試験方法、品質検査の各国家規格が施行され、外断熱(EIFS)の普及が急速に進展し、既に10,000,000 m²の建物の建設・改装に利用されています。EIFSにより冷暖房エネルギー消費が削減されるだけでなく、結露の生じにくい高品質な室内環境が実現されています。

上述のように、北米・中国では建物の外断熱化が堅調に推移している一方で、わが国の特に関西や北陸といった地方では、経済再生の緩慢さと総務省が推し進めた平成の市町村大合併の煽りを受けて、2000年以降順調であった外断熱の普及速度が少し緩まってきた兆候が見られます。そこで、両地域を管轄する外断熱推進会議の関西支部と北陸支部の関係者が、一同に会して知恵を出し合い、両支部での外断熱建築の一層の普及促進を図るべく、合同研究交流会を企画しました。

この度の合同研究交流会は、北陸地域の分譲集合住宅としては初となる本格的な外断熱採用の「ファスタージュ泉が丘サーモス ロイヤルロード」の竣工が間近に迫った好機を捉えて、これを見学すると共に、拙法人が今年6月に実施した「北京・天津外断熱調査」の結果を中心に進展著しい中国の外断熱事情をコーディネータの芝池英樹准教授(京都工芸繊維大学大学院)に講演頂き、さらに関西支部と北陸支部管内での外断熱事業の一層の普及・発展に寄与すべく、支部活動状況を報告し、今後の交流活動について討議するという、大変内容の豊富な企画となっています。



天津・北京の多様な EIFS 高層分譲住宅

関西・北陸支部 合同研究交流会(2007 金沢)

見学： EIFS 外断熱技術を中心として、採用された各種省エネルギー建材・設備の解説を聞きながら、その施工状況を2グループに分かれて視察します。分譲物件での見学会実施は、入居後の場合、全居住者の許諾を得る必要があるため調整が難しく、竣工直前のこの時期に見学が実現したことは極めて貴重であり、共同事業主である康和地所・信和住宅販売(共に賛助会員)のご理解とご厚意の賜と言えます。

講演： 著しい経済発展を続ける中国の省エネルギー政策と外断熱の現状について、芝池英樹准教授(前出)に解説頂きます。今年3月に実施された上海視察と6月の北京・天津外断熱調査で収集された豊富な情報に基づき、中国政府が推し進める外断熱化による省エネルギー政策と高層集合住宅が林立する最新の中国外断熱事情が報告されます。

報告： 廣口征男関西支部長と田村優樹北陸支部長に登壇頂き、両支部での活動計画と支部間交流について報告願います。関西支部では、管内で完成した外断熱集合住宅での物件総体でのエネルギー消費と温暖化ガス排出の実態調査を企画・推進しつつあります。分譲だけでなく、民営や公営の賃貸住宅も調査対象として網羅すべく、対象物件選別と調査対象団体・住民への協力依頼を進めています。得られたエネルギー消費と温暖化ガス排出の調査結果は、建物の外断熱化の有効性を広く世間に広報し、また中国で施行されているような、外断熱化を普及させる政策誘導を実現させるための基礎資料として活用される予定です。関西・北陸支部管内で、外断熱事業の一層の普及と発展をもたらし、支部活動をさらに活性化していくために、支部間交流事業を含めて、今後どのような活動を展開していくかについて、会場を含めた忌憚のない活発な討論を期待しています。

■ 講師紹介

芝池 英樹, 京都工芸繊維大学大学院准教授 造形科学域(都市・建築物理)



京都工芸繊維大学工芸学部卒業。神戸大学大学院自然科学研究科(博士課程)を経て、京都工芸繊維大学工芸学部助手。1994年に神戸大学から「建築壁体における熱・水分移動の境界要素解析に関する研究」により博士号(工学)を取得。1995年より京都工芸繊維大学工芸学部助教授。1995年8月より1年間カナダ国立研究機構建設研究所(NRCC/IRC)に招聘研究員として赴任し「建築壁体の熱・水分・変形問題の数値予測法の開発」に従事。専門は都市・建築物理で、建築部材から建築物総体、それを含む都市空間まで、水分移動を伴うエネルギー移動の予測と応用を研究テーマとして活動している。外断熱推進会議主催で「第1回米国・カナダ外断熱調査の旅」(2006年2月)と「第1回北京・天津外断熱調査」(2007年6月)をコーディネートすると共に、2007年3月には有志と共に上海外断熱視察を実施した。また、2007年2月には米国・中国より講師を招聘し「外断熱国際セミナーin東京」(拙法人主催)等を企画・実現させ、北米・中国の外断熱に関する最新技術情報の導入と普及に努めている。

関西・北陸支部 合同研究交流会(2007 金沢)

■ 会場案内



■ ノート
